



新社会党東京都本部委員長

江原ひであきアピール 2005.8

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話(03)3381-7656 FAX (03)3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール hide-eba@cameo.plala.or.jp

独裁者、狂気の小泉を倒そう！

8月8日衆院が解散された。9月11日、総選挙。郵政民営化法案が参院で反対125(賛成108)、17票差で否決され、小泉首相が反対する閣僚を罷免して強権的に解散を決めたのだ。

衆院でも5票という僅差での可決だったが、その際も反対の委員を差し替えたり、本会議でも反対すれば党を除名するとか、次の選挙で公認しないと徹底的に弾圧した結果であった。

この間には委員会では反対し、本会議で賛成した永岡洋治衆院議員が自殺(8/1)している。そして、8日の参議院だ。ここで否決したら小泉内閣の不信任だ！ その時は衆院を解散する！ そして反対した議員は次ぎの選挙で公認しない！ 選挙すれば自民党は負けて下野することになるかも知れない！ そうしたことがイヤなら賛成しろ！ と、衆議院も参議院も関係ない、小泉に反対する者は許さない！ 立法府の反対は小泉内閣の不信任といいながら、否決が現実となるや、ならば、国民の信を問うという。反対の声には 私が“総理大臣”“殺されてもやる”と。まさに狂気の独裁者小泉だ！

独裁政治は抹殺しよう！

この政治手法を許してはならない！ 小泉首相の政治はまさにトップダウン。権力を傘に自分の考えを強引に押し通す、内閣の組閣の際も自分の言うことだけを聞く、2代目3代目のおぼっちゃま議員を一本づりしてイエスマンで固める。自民党役員もそうだ！ イエスマンを要職に配置し自分の主張通りにことを進めようとする。与党幹部も内閣もイエスマンで固め、それでも反対する者は“抵抗勢力”の烙印を押し“敵”にし立て、それと闘う自分を‘かっこよく’演出する。まさに小泉劇場の主演を演じ続ける独裁者となってきている。しかし、政治は芝居だけでは進まない！ ここにきて劇場型政治の破綻が見えてきた。一気に独裁政治の根を取り除かなければならない。

「国会議員が言論の府である議会で自分の意見が言えないばかりか、恫喝されて“結論”まで変えさせられる」。立法府の議員が内閣総理大臣から“反対でも賛成しろ”“言うことを聞かなければ厳罰を与える”と強要される、これでは、恐怖政治ではないか。どこが「自由民主党」か！「非自由小泉独裁党」では

ないか。

このような政権や政党は“体制のいかん”を問わず現代の人間社会の“政治の在りよう”として許すべきではない。なのに、小泉首相は独裁政治を可能とする新しい自民党？を造るといっている。狂っている！

この際、小泉独裁を粉碎するために反小泉の諸政党など総力を挙げて闘おう！

ブレーキ破損の暴走車・小泉欠陥車を止めよう！

現在の小泉首相はブレーキが破損した暴走車！ 道路や線路など有る無しに関係なく障害物をはね飛ばし暴走を始めた欠陥車だ！ しかも、じゃま立てすれば自爆するぞ！ と恫喝しながら猛進する超大型車！ ここで、止められなければ自民党が変質するだけではない、日本そのものが崩壊する。

歴史を 100 年逆流させてはならない。即ち、軍部が膨張を続け軍国日本を形成し、軍部暴走を止められず、世に言う 15 年戦争に突入して(1945 年)日本が滅びた。この歴史を教訓としなければならない。

いま、かつての軍部に代わり小泉純一郎という‘狂気の独裁者’が出現しつつある。‘小泉’が‘殺されてもいい！’と郵政民営化を絶叫する様は、目が据わり顔が硬直して前後の見境がない狂気の独裁者そのものである。

今こそ、識者は立ち上がる時、国民は眼を覚ますとき。総選挙で自公(小泉)政権を打倒しよう！

8月 30 日には衆院選が始まる。私はいま、自、公、民に本質的な政策上での大きな違いはないと認識している。しかし、いま、最も大切なことは自民・公明を合わせても少数にし、自公政権を打倒して小泉を退陣させることである。そして、日本の政治の方向を変える新たな政権を創造することだ！ そのために、それぞれが大道を選択して総力を挙げて戦うことである。

識者に訴える！

有志の方々が呼びかけて、政治の現状を憂える識者を総結集して、「自公打倒！ 小泉退陣！のアピール」を発して日本の進むべき方向を示して頂きたい。

国民に訴える！

いつまでも、小泉劇場の三文芝居に拍手している場合ではありません。‘正義の味方小泉’は芝居の中だけのことに気づいて下さい。現実の政治は明らかに‘大企業奉仕の庶民いじめ’で貧富の差は開く一方です。人権は剥奪され待っているのは強権政治です。

‘官から民へ’を錦の御旗に“民営化”“民営化”を四六時中、聴かされ、何となく“民営化”すれば国民(自分)の生活が良くなるような錯覚をさせられているだけです。郵便でも電話でも鉄道でも国有だったものは元を正せば国民の税金で造り上げたものです。その国民の財産を一部の権力者たちが“民営化”の名のもとに山分けしているだけです。小泉の催眠術から眼を覚まし、国民を騙し続ける政治を打ち破りましょう。

9月11日に結果を出すために総力を挙げましょう。

(05年8月9日 江原ひであき)